

令和8年

安平町議会議長



新年あけましておめでとうございます。

そこでお健やかに新年をお迎えになりましたことを、心よりお慶び申し上げますとともに、日頃から議会に対し深いご理解と格別のご支援・ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、一月には埼玉県で長期にわたる救助活動を要した道路陥没事故が発生し、老朽化するインフラ整備への対応が、改めて大きな行政課題であることを認識させられました。

また、秋にはクマの市街地への出没範囲の拡大により、全国的に過去最多といわれる被害が発生しました。身近

などころでは、かんがい用水として活用されております瑞穂ダムの水量が、例年に比べて大幅に減少いたしました。幸いにも収穫後であつたため深刻な影響はありませんでした。が、気候変動への備えの重要性を改めて実感する年ともなり、豊かな自然に囲まれて暮らす私たちにとりましては、非常に大きな衝撃を受けた出来事が相次いだ一年になりました。

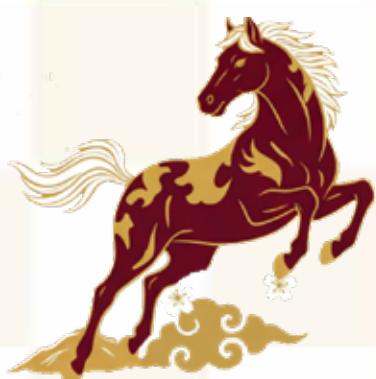
一方、7月には私たちの暮らしにも大きく関わる米の安定供給の問題や外国人政策、長引く物価高騰対策などが争点となつた参議院議員選挙が行われ、与党の議席数が過半数割れとなりました。その後も、日本初の女性総理大臣の誕生や連立政権の枠組み変更など、政治の分野におきましても大きな変化のあつた一年となりました。

町内におきましては、6月に道の駅あびらD51ステーションの来場者が400万人を達成し、隣接地において民間による新たなワイナリーの竣工式も行われ、本年3月のオーブンに大きな期待が寄せられ

なところでは、かんがい用水として活用されております瑞穂ダムの水量が、例年に比べて大幅に減少いたしました。幸いにも収穫後であつたため深刻な影響はありませんでしたが、気候変動への備えの重要性を改めて実感する一年となり、豊かな自然に囲まれて暮らす私たちにとりましては、非常に大きな衝撃を受けました。

ております。また、改修工事を終えた早来町民センターが、新たに合宿所機能を備えて4月にリニューアルされました。プロアイスホッケーチーム「レッドダイゲルス北海道」との包括連携協定を結び、地域振興やまちの活性化に向けた取り組みも進められており、町内の観光振興やスポーツの振興にとりまして、非常に力強い前進の一年となりました。

丙午の年は「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」といった、力強さを象徴する年であると言われております。全国的に有名な馬産地として知られる当町におきましては、安平町で産声を上げた名馬たちの活躍にあやかりつつ、町の持つ潜在能力をいかんなく發揮し、今年も大きな飛躍と発展を遂げるものと期待しております。



喪中により新年のご挨拶を
控えさせていただきます。

安平町教育委員会
教 育 長 井 内 聖
委 員 山 根 弘 文
佐 々 木 望
守 屋 竜 起
廣 川 由 香 里

安平町農業委員会

会長 榎原和龜男
委員長 谷口龍治
職務代理 辻信芳

安平町農業委員会
委員 富樺瑛一朗
武田信一